

いつも魚にあえる川づくり ～日光市のニッコウイワナ復活プロジェクト～



1 社会資本の概要

大谷川は栃木県日光市を流れる利根川水系鬼怒川支流の一級河川です。日光市清滝付近で日光市内を東へ流れながら周囲の急流で谷を刻む支流を集めて日光市町谷で鬼怒川に合流しています。急流河川で、古くから土石流、洪水氾濫による災害が多く発生しているため、川の流れを安定させるための床固群(と

こがためぐん)の整備が行われています。また、魚の生息域を保つために魚の通り道となる魚道の整備も進められ、河川生態系の保全が行われていますが、大谷川に生息するニッコウイワナは土砂流入等により生息環境の消失が進み絶滅が危惧されています。



大谷川に流入する土砂と濁流



堆積した土砂を撤去する様子



大谷川に生息するニッコウイワナ

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

生息環境の消失が進行しているニッコウイワナを保全するためには、地域住民が主体となって状況を把握し、対策を検討する必要がありますが地域の子どもたちが自然に触れる機会が少なく川や魚に無関心であるなど、いくつかの課題がありました。そのため、「市民の力で大谷川のニッコウイワナを守ろう!」をテーマに、平成31年から市内の漁協、釣り人、研究所、関連行政部局、企業及び小学校等

と協働し、ニッコウイワナの生態調査、増殖活動、生息環境保全活動、環境学習などを実施しています。地元小学生とイワナの調査、土砂を利用したイワナの隠れ家作り、卵やふ化の様子を家庭の冷蔵庫で観察する機会を提供しています。卵から成長を見守ったイワナを川へ放流することでイワナの減少原因や環境問題に親子の目が向くよう導き、未来の川づくり活動へ発展させています。



イワナの生態調査



ふ化したイワナの稚魚



隠れ家を利用するイワナ

3 活動の成果や波及効果等

令和4年度に農林水産省が公表する食育白書(政府が国会に報告する資料)と水産庁が公表するパンフレットに漁協との連携事例として紹介されました。

活動を行った児童が、イワナ調査の結果を国際学会で英語スピーチをしたことが新聞に掲載され、その記事が市内各地の小学校で話題となり模範活動として校内の掲示板に掲載されました。

調査結果が、国際雑誌(Ichthyological Research)で論文として公表されました。

このことによりイワナの資源保全のための禁漁区が設置され、魚類の生息環境に配慮した工事を実施するために、行政関連部局、漁協、研究者間で協議が行われるようになりました。



学習発表会で発表



国際学会で調査結果をスピーチ



全日本釣り団体協議会から
保全活動について感謝状を授与

喜びの声



受賞者
ニッコウイワナに学ぶ会
会長
道田 豊
(写真後列
左から3人目)

コメント

この受賞は、日光砂防事務所、日光土木事務所、古河日光発電株式会社、鬼怒川漁協日光支部、水産研究・教育機構、日光市、日光市内の小学校および大谷川を愛する釣り人たちを含む、ご協力いただいた全ての方々による功績です。これからも大谷川の河川環境やニッコウイワナの保全に向けて、全力で取り組んでいきたいと思っています。

活動の内容

- ニッコウイワナの生態調査、増殖活動
- 環境保全活動
- 地元住民を対象とした環境学習

活動の経歴

- 平成31年 ニッコウイワナに学ぶ会設立
清滝小学校と生態調査を開始
- 令和5年 国際学会で発表
全日本釣り団体協議会より感謝状授与

所在地

栃木県日光市

活動主体及び連絡先

ニッコウイワナに学ぶ会
nikkocharr@gmail.com

対象となる社会資本

利根川水系 鬼怒川支流 大谷川
※管理者:栃木県



ニッコウイワナに学ぶ会
活動場所

第二いるは坂
大谷川